



兵庫県立和田山高等学校 わこう さつま藩

朝来市和田山町枚田岡 3 7 6 - 1

いも、多様性。 ～SDGs17を網羅～

10/5 こども園 園児といもほり



朝来市の抱える問題として、少子高齢化、人口減少、農業の後継者不足、耕作放棄地、環境破壊、高校生と地域の関わり合い等が考えられます。ただでさえ人口が減少しているなか高校を卒業後、郷里に帰って就職をすることをしないで地元離れが加速しています。高校生が休耕畑で野菜の栽培を地域の高齢者の方々と一緒に行うとともに、地域のこども園の園児たちと栽培、収穫をしながら異世代交流を図ります。約155kgのサツマイモの収穫をしました。こども園、こども食堂、モンキーセンター、特別支援学校、被災地などに寄贈をしました。長軸はクリスマスリース、短軸はフキの代用品として食材や食育の教材、葉っぱはこども園で飼育されているウサギのエサにします。夏野菜、冬野菜、地元名産物を畑作することで農業に関心を持ち、新たな知識を体得し、貴重な経験をするとともに、将来の展望にも繋がりました。地域の特別支援学校の舎食の食材としても提供することにしました。地域交流を見据えた活動です。また畑周辺の清掃活動を行うことで美化意識の向上を図りました。加えて、畑に引き込まれる水のもととなる本流円山川の水質調査、生物調査、清掃活動などを行い、環境問題にも関心を持ちました。活動内容は、11月に販売実習などをもなった学校行事である「わだやマーケット」で報告するとともに、サツマイモの長軸を乾燥させ、環状で保存し、クリスマスリースの原型を作ります。古新聞を加工し、「しまんと新聞バッグ」にそれらを入れて配付を行いました。その活動の勢いそのまま、白菜、大根の野菜を栽培し、農業モノづくりの興味関心を高めます。この活動はSDGs17項目のすべてに該当します